

概要版



第3次

小美玉市地域福祉計画

The 3rd Omitama City Community Welfare Plan

ぬくもりあふれる福祉が、みんなを笑顔に。



令和3年3月 小美玉市

1

地域福祉とは

地域福祉は、公的な制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みを作っていくことです。

それぞれ異なる個性を持った住民が、その個性を尊重しながら他の人や行政などに過度に依存せず自立した生活を送ることができ、その上で互いに協力して、お互いの不足を補い合いながら協働できる、地域共生社会の実現を目指すものです。

地域共生社会 とは？

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



自助＝市民

市民一人ひとりができること

- 普段からお互いにあいさつや困っている人への声かけをする。
- 日常生活の中でボランティアや地域活動への関心を持ったり、参加したりする。

地域みんなでできること

- 介護や子育てなど、地域で気軽に話し合える場を持つ。
- 地域活動の情報を発信する。



互助・共助＝地域



公助＝行政

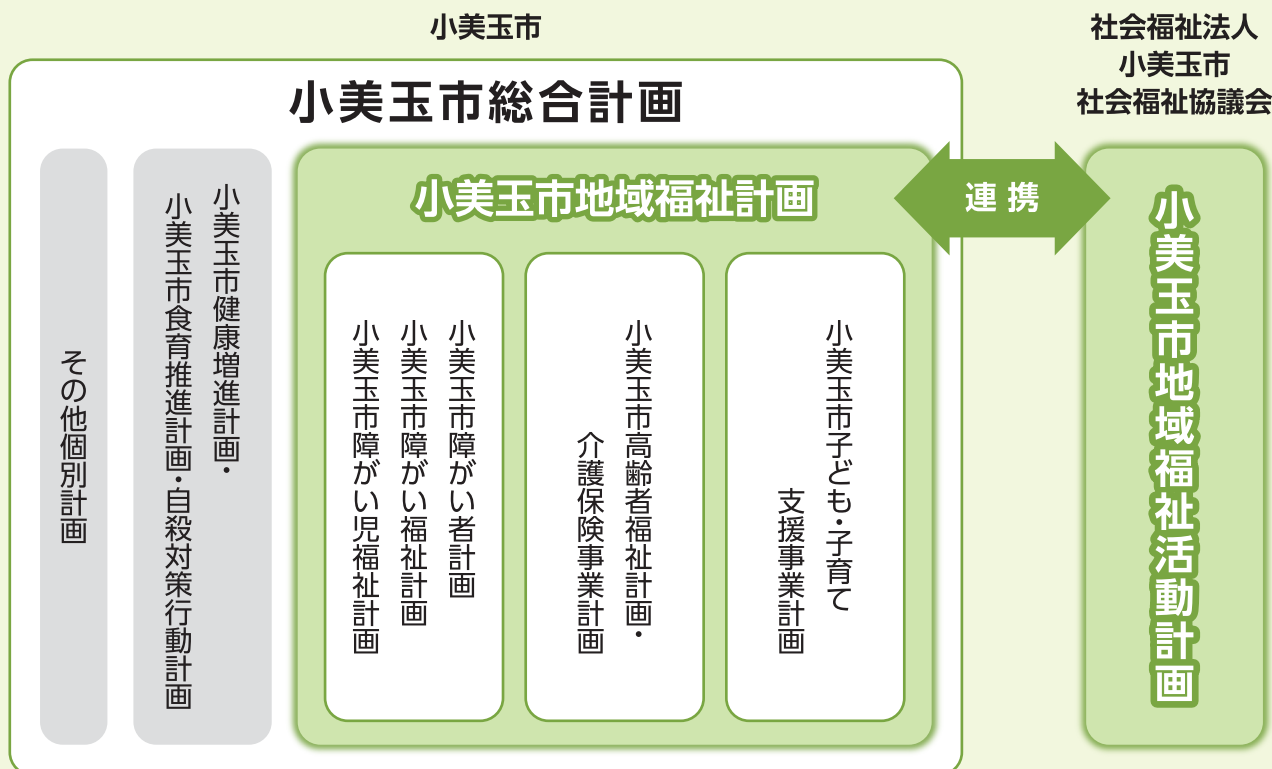
行政が取り組むこと

- 地域における見守りや支え合い活動を推進する。
- ボランティアの養成を進める。

2 計画の位置づけ

本計画は、市政運営の基本方針である「小美玉市総合計画」の部門別計画としての性格をもっています。高齢者、障がい者、子どもなどの福祉に関連する市の個別計画の上位計画かつ横断的に接続する計画として、市民主体のまちづくりや市民参画を促し、市民の生活全般にわたる福祉の向上を図ることを目的としています。

■計画の位置づけ



3 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画の期間とし、必要に応じて見直しを行います。

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小美玉市地域福祉計画 (第2次計画)									
					小美玉市地域福祉計画 (第3次計画)				

4 基本理念



ぬくもりあふれるまちづくり

本計画は、本市の地域福祉をめぐる課題に包括的に対応し、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう、これまでの基本理念を踏襲し「ぬくもりあふれるまちづくり」を掲げます。



5

基本目標

基本目標

1

地域で共に支えあう あたたかな心づくり



人口の減少や少子高齢化、世帯の細分化が進む中で、住民同士のまとまりや助け合いの不足を補い、身近な地域での支え合いを促していくため、支え合いの心のさらなる醸成を図るとともに、住民同士が出会い、地域福祉活動に参加する機会を生み出すような仕組みや居場所づくりを図ります。

基本目標

2

みんなに届く包括的な 支援体制づくり



一人暮らしの高齢者や要支援・要介護認定者、障がい者が増加する中で、保健・医療・福祉に関するニーズは高度化・多様化しており、市民一人ひとりのニーズに適切に対応できるよう、分野を超えて保健・医療・福祉が連携した、包括的な支援体制の充実が求められています。

すべての市民が必要なとき、適切なサービス提供・利用できる環境づくりを進めるとともに、保健・福祉に関する情報提供や相談支援体制の充実を図っていきます。

また引き続き、成年後見制度などの権利擁護の推進、生活困窮者への自立支援に取り組めます。

基本目標

3

安全・安心に暮らせる まちづくり



東日本大震災や風水害による被害発生を機に、防災をはじめとした安全・安心への意識が高まっており、災害時などの体制づくりがますます重要となっています。

地震等の災害に備えた環境整備を引き続き進めるとともに、高齢者をターゲットとする犯罪を防ぐため、安全なまちづくりを進めます。

また、生活支援サービスや福祉サービスの充実とともに、バリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。

さらに、運転免許証の返納促進を踏まえつつ、すべての市民が安心して移動や外出ができるように、安全な道路・交通環境づくりを進めるとともに、地域特性を踏まえた公共交通の整備を進めます。

そして、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域活動を行っている団体など、連携を充実し、福祉のネットワークづくりを図ります。

6

計画の体系

基本理念

ぬくもりあふれるまちづくり

基本目標

基本目標 1

地域で共に
支えあう
あたたかな
心づくり

基本目標 2

みんなに届く
包括的な
支援体制づくり

基本目標 3

安全・安心に
暮らせる
まちづくり

基本施策と施策の方向

1. 支えあう心の育成

- ① 学校や地域における福祉教育の充実
- ② 地域福祉の広報・啓発活動の充実

2. 地域でのふれあい、交流の場づくり

- ① 世代間交流の推進
- ② 地域での交流活動の推進
- ③ 隣近所との交流への支援

3. 地域福祉を支える人材の育成と活動の活性化

- ① 地域活動・ボランティアの人材やリーダーの育成
- ② ボランティア団体等と担い手をつなぐ仕組みづくり
- ③ 地域活動やボランティア活動への支援
- ④ **福祉・介護人材、専門職の確保への支援** 新規施策!

1. 包括的な相談支援・情報提供体制の充実

- ① 情報提供の充実
- ② **包括的な相談支援体制の充実** 新規施策!
- ③ 民生委員・児童委員等との連携

2. 福祉サービスの充実

- ① 地域包括ケアシステムの充実
- ② 各種福祉サービスの充実
- ③ 相談・苦情対応体制の充実

3. 自立支援体制の充実

- ① 社会的孤立への対策
- ② 権利擁護の普及と啓発
- ③ 虐待、DV(ドメスティックバイオレンス)防止の連携強化
- ④ 生活困窮者への支援
- ⑤ **外国人への支援** 新規施策!

1. 生活環境整備の充実

- ① バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
- ② 利用しやすい交通環境の整備
- ③ 環境美化のまちづくりの推進

2. 防犯・防災体制の充実

- ① 災害時における地域防災体制づくり
- ② 要支援者の避難支援体制づくり
- ③ 地域で取り組む防犯体制づくり

3. 地域福祉のネットワークづくり

- ① 地域福祉推進体制の整備
- ② 社会福祉協議会との連携の強化・社会福祉法人との連携
- ③ 見守り体制の充実

7

計画の推進体制

1 計画の周知

地域福祉は、行政だけでなく、担い手となる市民、事業者、関係団体等が互いの特性や能力を発揮し、連携・協力しながら取り組んでいくことが重要です。

その前提として、本計画に対する十分な周知、そして理解が得られることが重要であるため、広報紙やホームページなど多様なPR媒体を活用し、様々な機会を通じて本計画を周知していきます。

2 市民・事業者との協働による推進体制の整備

すべての市民が住み慣れた地域の中で、生きがいと安心を感じながら、共に支えあうことができる地域福祉の実現を目指すためにも、地域全体で包括的に地域活動を推進していく必要があります。よって、市民や地域団体が、それぞれの主体に応じた活発な活動ができるように、事業者、NPOなどと連携し、それぞれの特徴が生かされるよう調整を図りながら「協働」により計画を推進していきます。

3 市・社会福祉協議会の連動による推進体制の整備

市と社会福祉協議会が連携・協働して、本計画の事業の推進及び進捗管理を行います。また、地域福祉の推進には、福祉分野だけに限らず、保健・医療、教育など、様々な分野との連携が重要になります。そのため、計画の推進については、庁内の総合的かつ積極的な体制を整備し、関係部局との連携・情報共有に努めます。

4 進捗管理・評価

計画に基づく施策を推進するため、計画全体の推進方策の検討や、進捗状況の点検・評価を計画的に行い事業の推進を図ります。事業の推進にあたっては、十分な成果が得られるよう学識経験者や福祉関係者などに意見を求めるなどしながら、必要に応じて計画の見直しを行うなど、地域の実情を反映することに努めます。



8

目標値

本計画では、計画の進捗状況や達成度を的確に把握し、評価するため、目標値を設定します。また、目標値は、市民、地域、事業所、市の連携・協力により達成するものです。

基本目標	目標数値	前回 (平成27年)	今回 (令和2年)	目標値 (令和7年)	現状値の出典
1. 地域で共に支えあう あたたかなづくり	地域社会の住民同士での支え合い活動が必要だと「思う」と回答した割合	85.3%	85.3%	90.0%	アンケート調査
	地域活動の参加状況は「参加している」と回答した割合	60.1%	60.5%	70.0%	アンケート調査
	ボランティアやNPO活動(民間非営利活動)に「参加したことがある」と回答した割合	26.6%	23.6%	30.0%	アンケート調査
2. みんなに届く 包括的な支援体制づくり	居住地区の担当民生委員・児童委員を「知っている」と回答した割合	33.0%	33.6%	40.0%	アンケート調査
	小美玉市社会福祉協議会を「名称も、どのような活動をしているかについても大体知っている」と回答した割合	35.6%	36.8%	40.0%	アンケート調査
	地域や生活の情報の取得状況で、「十分に得られている」、「どちらかといえば得られている」と回答した割合	54.7%	53.8%	60.0%	アンケート調査
3. 安全・安心に暮らせる まちづくり	地域の防災訓練に参加していると回答した割合	9.0%	8.0%	20.0%	アンケート調査
	地域の自主防災組織	79.2%	81.9%	90.0%	防災管理課
	学区コミュニティ組織数	8組織	9組織	12組織	市民協働課
計画全体	小美玉市の地域福祉に関する市民と行政の協働(パートナーシップ)が「非常に進んでいる」、「どちらかといえば進んでいる」と回答した割合	43.3%	41.2%	50.0%	アンケート調査